

3

On a cold winter night, a queen living in a castle was looking outside from the window. She had been depressed every day because she hadn't been blessed with a child for a long time.

When she was staring outside, snowflakes lightly floated down from the sky. She made a wish to a snowflake on her palm.

"God, I beg you to give me a beautiful and pretty baby like this snow."

The queen was blessed with a baby soon as if God granted her wish. The baby was a girl, so she was named "Snow White". Snow White grew up healthily with the king's and queen's love.

However, their happy days didn't last long.

The queen suddenly fell ill and passed away.



5

A year after the queen's death, the king found another queen to be his second wife. The new queen was overbearing.

The queen instructed everyone around her to tell her that she was the most beautiful human in the world.

She had the only magic mirror in the world. She would always ask the mirror,

“Mirror, mirror, on the wall, who is the fairest of them all?”

“It's you, queen.”

She always smiled with great satisfaction when she heard its answer.

This magic mirror never lied.

As ten years or so went by, Snow White grew up and became so beautiful that everybody admired her.



ある、ふゆのひの よる。

おしろに すむ おきさきさまが、まどから そとを  
ながめていました。おきさきさまは ながいあいだ  
こだからに めぐまれず、まいにち つらいおもいを  
していました。

そのとき、そらから ひとひらの ゆきが まいおりて  
きました。てのひらに のった ゆきの はなびらに、  
おきさきさまは ねがいごとを しました。

『かみさま、どうか おねがいします。この ゆきのように  
うつくしい、かわいい こどもを さずけてください』

この ねがいが ききいれたのか、まもなく  
おきさきさまは、あかんぼうを さずかりました。  
あかんぼうは おんなのこ だったので『しらゆきひめ』と  
なづけられ、やさしい おうさまと おきさきさまの もと、  
すこやかに せいちょうして いました。

しかし、この しあわせな 暮らしも、ながくは  
つづきませんでした。おきさきさまが とつぜんのやまいに  
たおれ、なくなってしまったのです。



おきさきさまが なくなって いちねん ご、おうさまは、  
あたらしい おきさきさまを むかえました。あたらしい  
おきさきさまは、とても プライドが たかく、  
このよで いちばん うつくしいのは じぶんだと、  
いつも まわりの ものに いわせていました。  
そして おきさきさまは、せかいに ひとつしか ない、  
まほうのかがみを もっていました。  
おきさきさまは、いつも その かがみに といかけました。

「かがみよ、かがみ。せかいで いちばん うつくしい ものは  
だれだい？」

『おきさきさま。それは、あなた です』

その へんじを きいて、  
おきさきさまは まんぞくげに ほほえみました。  
まほうのかがみは、けっして ウソを つかないからです。

それから じゅうすうねんの つきひが ながれ、  
しらゆきひめは すくすくと せいちょうし、  
やがて だれもが みとれるほどの、  
うつくしい じょせいに なりました。

